



## 大学教育における DX (デジタルトランスフォーメーション)

医学部公衆衛生学講座

附属総合情報センター長 大西 浩文

本年4月1日より長峯前センター長の後任として、附属総合情報センター長を拝命いたしました。新型コロナウイルス感染症の拡大によって、思わぬ形でオンライン会議等のデジタルツールの活用が浸透し、大学教育においても今後も大きな変革が起こることが想定されます。附属総合情報センターとしても、これからの新しい図書館サービスや情報ネットワーク基盤整備を目指して取り組んでいかなければならないと考えております。



狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会と社会は大きく変化してきましたが、次の社会として Society5.0 という仮想空間と現実空間を融合させて、経済発展と社会的課題解決の両立を目指す取り組みが行われています。ICT 技術の進歩や IoT による情報収集の自動化等により、サイバー空間に現実社会を複製することが可能となり、それまで現実空間で人間が行ってきた情報の分析や将来予測が、サイバー空間の中で人工知能 (AI) を初めとする技術によって処理され、現実社会に大きな変革をもたらすのがデジタルトランスフォーメーション (DX) です。日本においても令和3年9月にデジタル庁が発足し、様々な領域で DX への取り組みが進められています。文部科学省は、教育、科学技術、文化芸術、スポーツの各分野において、ポストコロナに対応する DX の取り組みを早急に進めることを目的として、令和2年12月にデジタル化推進プランを策定しました。大きな柱の一つである「教育におけるデジタル化の推進」の中には、大学におけるデジタル活用として、デジタル技術を活用した自発的な学びや気づきの効果的な誘導、現場実習・実験に近い体験ができる学習方法を全国に浸透させる、対面とオンラインのハイブリッド教育が提供できるためのさらなる環境整備、データサイエンスや AI の基礎などの必要な力を全ての国民が育み、あらゆる分野で人材が活躍するための教育の推進、大学入学者選抜における CBT の活用に向けた研究開発などの検討が進められることになっています。また、2018年に中央教育審議会がまとめた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン(答申)」において、目指すべき姿の1つとして「学修者本位の教育」への転換と、そのための ICT を活用した教育の重要性について指摘されているにもかかわらず、現時点で本格的な普及には至っていないことを受け、文部科学省は新たな DX 施策である「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン (Plus-DX)」を2021年度よりスタートしています。学修者本位の教育への転換を実現する DX の取り組みの例としては、LMS (Learning Management System) で蓄積した学修ログを AI で解析し、一人ひとりの習熟度を把握して、次に学ぶべきカリキュラムを自動で提案するなど、個々人に最適化された教育の実現を進めること、コロナ禍で実施が難しくなっている保健医療系の臨床教育においては、VR を導入して仮想空間での実験・実習などができるようにすることなどが挙げられています。本学においても、こうした取り組みを行うためには、その基盤となるネットワークのあり方を検討して整備を進める必要があります。学内の多くの方からご意見を頂き、本学の教育の DX を進めていくことができると考えております。

# 申請がリニューアルしました

## 図書館利用（IDカード）



「学内者」「卒業生・元教職員」「学外者」の方は図書館利用申請をすることで、さまざまな図書館サービスを受けることができます。



● 図書館HPより、各申請について詳しくご覧いただけます。また、申請用紙(PDF/Word)をダウンロードすることもできます。



学内者



卒業生・元教職員



学外者

メール申請も可能です！



## 学内者

本学の教員(専任教員、非常勤教員、特任教員等)、職員(病院、事務等)の方でIDカードをお持ちでない方は、図書館利用申請をして、IDカードを発行することができます。

IDカードを発行すると、館内利用、資料の貸出、ILL※依頼といった図書館サービスを受けることができます。図書館に申請用紙がありますので、記入したものをカウンターへご提出ください。IDカードは、申請受理日から原則として翌々開館日までに発行されますので、カウンターまで受け取りにお越しくください。

## 卒業生・元教職員

図書館の通年利用を希望される卒業生・元教職員の方は、利用申請をしてIDカードを発行することで、館内利用、資料の貸出、ILL依頼などの図書館サービスを受けることができます。また、ILL依頼のみご希望の方は、IDのみの発行も可能です。

IDカードまたはILL用利用者IDは、申請受理日から、原則として一週間程度で発行されます。受け取りは来館のほか、郵送(要返信用封筒)も可能です。連絡先や勤務先に変更がありましたら、図書館までお知らせください。変更申請がない場合、図書館サービスが受けられなくなりますので、ご注意ください。

## 学外者 (北海道内在住の地域医療従事者、北海道職員)

図書館の通年利用を希望される学外者の方は、利用申請をしてIDカードを発行することで、館内利用、ILL依頼などの図書館サービスを受けることができます。また、ILL依頼のみご希望の方は、IDのみの発行も可能です。

発行までの日数と、お渡しの方法は、卒業生・元教職員と同様です。

学外者の有効期限は申請年度内となります。次年度も継続してご利用される場合は、3月以降に更新手続きをしてください。

また、学内で身分や所属が変更になる場合は、IDカードの番号が変更となります。身分または所属が変わった後も継続して図書館をご利用される場合は、再度申請をする必要がありますので、図書館カウンターまでご照会ください。



※ILLとは？

Inter Library Loanの略で、図書館間相互利用を意味します。ILLを利用することで、本学に所蔵がない資料(コピーや現物)を他機関から取り寄せることができます。

なお、現物借用は学内者の利用に限りです。

申請方法	必要書類	備考
カウンター	① 申請書	
	② 身分証明書	卒業・退職前：学生証・教職員証 卒業・退職後：現住所と勤務先が確認できるもの
郵送	① 申請書	
	② 身分証明書の写し	現住所と勤務先が確認できるもの
	③ 返信用封筒	勤務先の郵便番号と住所記載
	④ 返信用切手	IDカード発行希望：414円(簡易書留) 文献複写サービスのみ希望：84円(普通郵便)

申請方法	必要書類	備考
カウンター	① 申請書	
	② 身分証明書	現住所と勤務先が確認できるもの
郵送	① 申請書	
	② 身分証明書の写し	現住所と勤務先が確認できるもの
	③ 返信用封筒	勤務先の郵便番号と住所記載
	④ 返信用切手	IDカード発行希望：414円(簡易書留) 文献複写サービスのみ希望：84円(普通郵便)



## 書館活用方法：図書購入リクエスト【学部生・専攻科生・大学院生限定】

図書館では「図書購入リクエスト」を随時受け付けています。学習や研究に必要なけど、図書館にない…そんなとき、ぜひリクエストを送ってください。

今回は図書購入リクエストの方法、利用する際の注意事項をご紹介します。

### 申込方法 1：マイライブラリから申し込む

- 【1】情報センターHP > 図書館  
> マイライブラリからログイン



- 【2】新規申し込み > 「購入を依頼」をクリック



- 【3】資料の購入依頼の項目を入力 > 確認に進む

資料の購入依頼：入力

入力

書名 (必須)

著者名

出版社

出版日付

ISBN  
指定できるISBNは1件です。

利用者

通信欄

メールアドレス

中止 確認に進む

- 【4】入力内容を確認 > この内容で依頼

資料の購入依頼：確認

入力 確認

書名 test

著者名

出版社

出版日付

ISBN

利用者

通信欄

メールアドレス

中止 修正 この内容で依頼

- 【5】「図書購入リクエスト」完了！

▶ 図書館からの連絡をお待ちください

### 申込方法 2：大学書房から申し込む

- 【1】大学書房へ行く



場所：教育研究棟2階  
持ち物：学生証

- 【2】希望の図書を探す

希望の図書が見つかったら、該当の図書と学生証を持ってそのままレジへ。



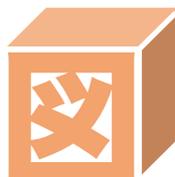
- 【3】図書購入リクエスト完了！



図書館からの連絡をお待ちください

## 注 意 事 項

- ▶ 購入できるものは「図書」です。
- ▶ 学習・研究に関連するものに限り、購入対象外
  - ・雑誌、特定の資格取得のための問題集や参考書
  - ・図書館での利用に制限のある図書(付録が利用不可等)
  - ・図書館で既に所蔵している資料 等
- ▶ 購入した図書は、申し込んだ方が一番に利用できるように、予約資料として取り置きします。(取置期間：1週間)
- ▶ 購入可否はメールにて連絡します。
- ▶ 申込後、実際に利用できるようになるまでお時間がかかります。(通常1ヵ月程度。ただし、大学書房利用の場合のみ1週間前後で利用可能となります)
- ※ その他の理由でご希望に添えない場合もあります



## 書館企画展示 テーマ“たべる”開催中

今年度より、「図書館企画展示」をはじめました。2～3ヵ月毎にテーマを

- 設定し、図書館員が蔵書から選定した資料をPOPとともに展示します。
- 現在のテーマは8月末までを予定しております。お時間のあるときに、ぜひお手に取ってご覧ください。
- また、次回の展示もお楽しみに！



### 【図書館企画展示】

テーマ：“たべる”

期 間：2022年6月1日  
～8月31日

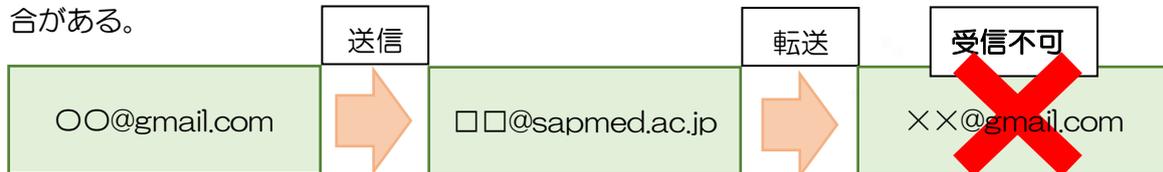
場 所 情報センター2階  
ラウンジスペース

## 外部メールサービスへのメール転送に係るメール不着について

令和4年3月1日以降 Gmail 等メールサービス提供業者のセキュリティ対策レベル変更により、メールの疎通が正常に完了されない事例が散見されています。

### • 具体的な事例

〇〇@gmail.com から□□@sapmed.ac.jp へメールが送信され、××@gmail.com へ転送設定をしていた場合、転送先の Gmail 上においてメールを正常に受信することができない場合がある。



### • 現状の対応策

対策は転送可能なメールアドレスを転送先として設定するか、転送をせずに直接 sapmed メールを確認するといった方法となります。現在は転送可能であったとしても、今後の情勢次第で各メールサービスのセキュリティ対策レベルが更に変更され、上記のような事象が発生する可能性があるため注意が必要です。学外からの sapmed メール送受信については、情報センターにて提供している Web メールを利用することができます。詳細については、情報センターホームページより確認することができます。

ホームページ Web メール・サービス

<https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/internal/930/>

QR コード



総務・システム係 内線: 22390/22490 Email: [icccj@sapmed.ac.jp](mailto:icccj@sapmed.ac.jp)

### 図書館のホームページが 新しくなりました！

医中誌、PubMed 等は  
「オンラインコンテンツ」から、  
学外からのリモートアクセスは  
こちらのアイコンからご利用く  
ださい。



パソコン用サイト



スマートフォン用サイト

### ◆ 総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	24240	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス (カウンター)
学内所属員の文献複写依頼に関すること	24170	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関すること	24180		
図書に関すること	24160	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関すること	24230	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関すること	24160	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メールアドレス、LAN への機器接続に関すること	22390	icccj@sapmed.ac.jp	総務・システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	24170	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス

誌名「Barks (パークス)」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮 (liber)」の英訳です。

パークス  
**Barks**

Sapporo Medical University  
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人  
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目  
TEL 011-611-2111(代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/> E-mail [libserv@sapmed.ac.jp](mailto:libserv@sapmed.ac.jp)